

令和5年度 特別国民体育大会 弓道競技 少年の部

京都府予選会 実施要項 (案)

1 出場資格

- (1) 選手・監督の参加資格については、第78回国民体育大会実施要項総則および競技別実施要項に示された資格とする。
 - ・選手の年齢制限
2005年(平成17年)4月2日から2008年(平成20年)4月1日までに生まれた者とする。
 - ・高専4年生以上は成年の種別となる。
 - ・一家転住等、日本国籍を有しない者については特例処置あり。
- (2) 原則として京都府弓道連盟に登録をしている者。
- (3) 選考会・強化練習会を経て、国体ブロック大会に参加する意思がある者。
- (4) 京都府高等学校体育連盟弓道部大会実施要項を遵守できる者。

2 予選会日程

- ① 近的記録会 <近的 20射程度> (令和5年4月9日 9:00～ 武道センター)
- ② 全国総体個人一次予選会 <近的 8射> (5月7日 9:00～ 武道センター)
※ 参加人数が多い場合は、①の記録会中に選抜を行うことがある。

3 参加料 500円 (近的記録会当日最終締め切り)

4 国体予選会への申し込み方法

- (1) 高校弓道部登録者(別紙の申込用紙にて申し込むこと)
3月31日(必着)までに、高体連主催の試合参加申込書に入力のうえ、電子メールにて担当者へ送信すること。参加料は近的記録会当日に、学校ごとにまとめて担当者へ渡すこと。
- (2) 京都府弓道連盟組織団体登録者
郵送、FAXまたは電子メールにて発送または発信すること。
別紙(成年の部のものを使用すること)申し込み用紙を郵送・送信すること。参加料は近的記録会当日に、担当者へ手渡すこと。
申し込み締め切り 3月31日(必着)
- (3) その他 予選会の途中登録・参加は認めない。

5 最終選考通過者の選考方法

最終選考会終了後、弓道連盟会長・理事長・弓連国体部ヘッドコーチの3名と高体連国体部指定コーチの協議によって、強化選手4名までを決定する。

6 選考基準

- (1) 予選会の試合に於いて的中はもちろんのこと、射技・体配のしっかりしている者。
射技については「弓道教本 第1巻 射法八節図解」などをもとに選考する。
- (2) 上記の者の中から過去の記録も参考にし、学校選抜を基本とする。単独校でチーム編成できないときは、他校より個人選抜を行う。この場合、最大5名までを選考する。
- (3) 候補者の中で、辞退する場合は、随時担当者へ連絡すること。

7 国体近畿予選会、および国体登録者について

- (1) 強化指定選手5名までは、強化練習を経て8月19～20日に兵庫県明石市で開催される近畿ブロック大会に出場する。5人目に関する対応は「8(3)(4)」による。
- (2) 近畿予選会を通過した場合、その試合で行射した3名を原則として本国体(鹿児島県出水市)への登録選手とする。

8 その他

- (1) 選考の結果を男女各6位まで入賞とする。ただし、順位を決定する競射は行わず、最終選考会議の席上で決定する。
- (2) 5・6位に該当する選手について、進学等で戦績の証明が必要な者は担当係まで申し出ること。
- (3) 強化指定選手を最大5名までを選出し、近畿ブロック大会には最大5名までのエントリーを行う。5人目の選手を近畿ブロック大会に起用するかどうかは監督(または指定コーチ)の裁量に任せる。
- (4) 選考会で5人目選手を選出した場合、5人目にかかる経費は高体連より負担しない。
- (5) 監督については公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者制度に基づく競技別指導者資格を有する者とする。従って、「5」の指定ヘッドコーチが該当資格を有していない場合は、別途、競技団体より有資格者を監督として派遣する。
- (6) 新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、予選会を通信大会へ変更することがある。
- (7) インターハイと近畿ブロック大会日程が接近している場合は、インターハイ出場校が近畿ブロック大会にも参加するかどうかを決定する。インターハイ出場校が、近畿ブロック大会ならびに本国体出場を希望しない場合は、次点の学校が近畿ブロック大会へ参加する。申込用紙該当欄に「○」印を記入すること。
- (8) インターハイ出場が決定し、近畿ブロック大会ならびに本国体出場を希望しない学校は、申込用紙該当欄に「○」印を記入すること。

9 申込先・当面の連絡先

〒615-8102 京都府立桂高等学校 塚脇 真之介 宛
TEL (075) 391-2151 FAX (075) 391-2153
携帯 (090) 6961-6056
電子メール tukawaki-15@kyoto-be.ne.jp